



経験を活かして…

「自分たちの経験が、地域の子どもたちや子育てをしているお母さんたちに何か役立てられないか」との思いから「わくわくひろば」は活動が始まりました。

地域の子どもやお母さんたちへ思いを持ったのは、港区立の保育園を定年退職した先生数名。

活動は親子で一緒に遊べるよう手作りおもちゃ作りや、小麦粉粘土、新聞紙を使って遊んだり、経験を活かしたさまざまな活動をしています。



遊びの中でも、子どもたちの成長を感じます♪♪

「だいじょうぶ」と声をかける存在として…

子育て中に感じる子どもの成長や喜び。でも、楽しいことばかりではなく、時には悩みや不安で心配になることも…。

そんなお母さんたちに「だいじょうぶよ」と声をかけ、優しく寄り添ってくれる雰囲気がサロンにはあります。

「わくわくひろば」のみなさんが向ける地域の子どもやお母さんへのまなざしは、親戚のおばちゃんや子どもの成長を、一緒に見まもってくれるような優しさにあふれていました。



また参加したくなる工夫がいっぱい♪♪

サロンの広がり

「4年前に始めた当初は、近くの公園に行って、他の親子と交わることなく遊んでいるような人に声をかけて、活動を広げていました」

「今は、参加してくれるお母さんたちが、他のお母さんたちに声をかけて広げてくれます」と活動の広がりの変化を話す代表の^{ましこ}猿子さん。

「公園で遊んでいる時に、声をかけてもらい、同じような年齢の子どもやママ友とつながる機会はとても大事です」とサロンに参加しているお母さんは教えてくれました。



温かいまなざしは、いつも変わりません